

大阪 ぼしれん

発行所 社会福祉法人
大阪府母子寡婦福祉連合会

発行人 滝本 美津代
大阪府東成区中道1丁目3番59号
大阪府立母子・父子福祉センター内
電話 06(6748)0263
F A X 06(6748)0264
URL : <http://www.osakafu-boshiren.jp/bosh/>

8月号 (2021)

(248号)

トピックス

- 1面 ごあいさつ
連合会役員等
- 2面 皓養奨学金
給付式
お礼

就任ごあいさつ

ひとり親家庭の 明るい未来のために

大阪府母子寡婦福祉連合会
理事長

滝本 美津代



令和3年6月23日付けで、再度、理事長を拝命する事になりました。この2年間を振り返りますと、まず事務所の谷町福祉センターから大阪府立母子・父子福祉センターへの移転があります。連合会はセンターの指定管理者となり、府下のひとり親家庭の支援のため、より一層力を入れているところです。

また、昨年からは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大があり、不安定な非正規雇用のひとり親家庭がより深刻な状況となっています。会員の皆様とお顔を合わせる機会が減り、お話を伺うことができませんが、地元の母子会や連合会に声を上げていただき、その声にこたえるべく励んでまいります。

最後になりましたが、行政並びに関係各位の更なるご支援ご指導をよろしくお願いいたします。

誰もが気軽に相談できる 場をめざして

大阪府母子寡婦福祉連合会 副会長
収益事業業務執行理事

岡本 千代子



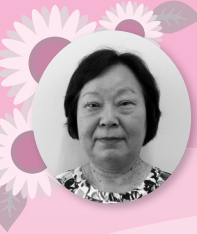
この度も、ひきつづき副会長を務めさせて頂くことになりました岡本です。よろしく願い致します。

ひとり親家庭は仕事、家事、子育て等、一人で担っておられます。安定した就業、安定した生活に繋げるため、大阪府母子家庭等就業・自立支援センターでの就業支援講習会や就業相談などを活用して頂きたいと思います。コロナ禍の中、日頃頑張っておられる方を見守り、支えあい、悩みに寄り添えるよう、ひとり親同士が気軽に楽しめる交流の場を作れるよう、微力ではございますが、努力して参りたいと思います。

ひとり親家庭の親と子が 安心して暮らせる社会を

大阪府母子寡婦福祉連合会 副会長
就業自立支援センター業務執行理事

佐古 加代子



この度の役員改選において、引き続き副会長を務めさせていただきます。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんど行事もできず、会員の皆様にはご希望に添えず、申し訳ありませんでした。

大阪府立母子・父子福祉センターでは、就業支援講習会として様々な講座を行っていますが、このコロナ禍においても、資格取得や技能習得のため、たくさんのひとり親の方が受講し、熱心に勉強をされており、頭の下がる思いです。就業支援センター業務執行理事として、微力ながら、ひとり親家庭の親と子が安心して暮らしていけるよう取り組んでまいりますので、今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

連合会役員等

- | | |
|-----|-------------------------------|
| 理事長 | 滝本 美津代 (泉南市母子寡婦福祉会会長) |
| 理事 | 岡本 千代子 (連合会副会長 枚方市母子寡婦福祉会会長) |
| | 佐古 加代子 (連合会副会長 池田市母子寡婦福祉会会長) |
| | 芝野 節子 (柏原市母子寡婦福祉会会長) |
| | 杉野 牧子 (茨木市母子寡婦福祉会会長) |
| | 土川 好子 (門真市母子寡婦福祉会会長) |
| | 石伏 宣夫 (連合会相談役) |
| | 岩田 敏郎 (社会福祉法人 聖徳会理事長) |
| | 草川 大造 (社会福祉法人 大阪障害者自立支援協会相談役) |
| | 長上 深雪 (龍谷大学社会学部教授) |
| | 牛濱 健二 (悠々の苑施設長) |
| 監事 | 中野 昇 (元大阪府健康福祉部児童家庭室長) |
| | 橋本 雅世 (橋本雅世税理士事務所所長) |
| 評議員 | 竹内 悦子 (高槻市ひとり親家庭福祉会会長) |
| | 東上 豊子 (島本町母子寡婦福祉会会長) |
| | 佐々木 文子 (豊中市母子寡婦福祉会会長) |
| | 今井 志の武 (能勢町母子寡婦福祉会会長) |
| | 南 敬子 (貝塚市 母子福祉会会長) |
| | 三瓶 勝子 (河内長野市 母子寡婦福祉会会長) |
| | 寺岡 寿子 (大阪狭山市母子寡婦福祉会会長) |
| | 石山 靖子 (松原市母子福祉会会長) |
| | 辻村 祐子 (東大阪市母子寡婦福祉会会長) |
| | 福井 節子 (四條畷市母子寡婦福祉会会長) |
| | 伊山 喜二 (大阪府社会福祉協議会児童施設部会長) |
| | 山上 幸雄 (社会福祉法人 武田塾理事長) |

令和3年度 皓養奨学金給付式

皓養奨学金給付式を6月12日（土）大阪府立母子・父子福祉センターに於いて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場の入場者を制限し2部に分けて開催する予定でしたが、緊急事態宣言が延長されたことにより、残念ながら昨年に続き中止となりました。

皓養奨学金は昭和48年、一般財団法人皓養社様から「経済的に困難なひとり親家庭の高校生に教育費を助成したい」との申し出により始まり、その後、毎年、多額のご寄付をいただき行っています。皓養社様からの寄付金は、奨学金の他、ひとり親家庭の健全育成のための事業にも使わせていただいています。

毎年、奨学生やそのお母様から、たくさんのお礼の手紙をいただいております、皓養社様にお届けしています。

皓養奨学金をいただいて

この度は次男が皓養奨学金を頂戴し、心より感謝申し上げます。

コロナ禍で学校の授業も遅れ、センター入試が共通テストに切り替わるという節目の年で、昨年の高校3年生は大変な苦勞を強いられたと思います。その中でこの有難い皓養社様からの給付型奨学金はとも大きな支えとなりました。

大学進学を目指していた次男は、昨年いただきました前期分で参考書や過去問題集を購入、後期分は大学の受験費用の一部に充てさせていただきました。

今は希望していた大学に進学することができ、オンライン授業等慣れないことは多々あるようですが、夢に向かって進んでくれているようです。

振り返れば、子ども3人を連れ、逃げるようにして別居、調停を経て離婚してから8年が経ちました。当時は子どもたちに迷惑をかけて申し訳ない気持ちでいっぱいでしたので、彼らの希望する進路に送り出せるように、一時期はトリプルワークで必死に働きました。おかげさまで長女長男は社会人となり、希望する形になっているようです。次男もそれに続いてくれるように、母としてまた頑張っ働きます。

末筆ではございますが、皓養社様と大阪府母子寡婦福祉連合会様のさらなるご発展をお祈り申し上げます。これからもこのような素晴らしい支援を続けていただけることを願っております。この度は本当にありがとうございました。

会員募集中！

ホームページを
ご覧ください！



各市町村に母子会があり、それぞれ独自にいろいろな交流事業等を実施しています。

大阪府母子寡婦福祉連合会ホームページでは、ぼしれんの活動内容として、各市町村の母子会活動内容がご覧いただけます。

母子会に入会して、一緒に活動してみませんか？入会希望の方は連合会ホームページから申込みできます。

ぜひ、お住いの市町村の活動内容をご覧ください、行事等の参加をお待ちしています。

お礼

株式会社 PASONA 様より、手指消毒剤をご寄付いただきました。新型コロナウイルス感染症対策に使わせていただきます。ありがとうございました。

